

科目コード	N12303	科目名	生活援助技術学 - 生体機能管理技術 -				
履修区分	必修	開講期	1年後期	授業回数	30回	単位数	2単位
担当者	松脇喜久美 / 若狭 富美子 / 中井 芙美子						
授業の概要	検査や診療を必要とする対象が安心して安全な療養生活を送るために必要な看護の基本的知識や技術を学修する。						
DPとの関連	平和を希求する姿勢を身につける						
	豊かな教養を身につける						
	高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける						
	看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける						
	地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける						
	自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける						
	多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける						
	社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける						
到達目標	異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける						
	DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
履修上の注意事項	生体機能管理に関する基礎的な看護技術を習得することができる。 感染予防管理の基礎知識を理解し技術を習得する。創傷管理技術の基礎知識を理解し技術を習得する。排泄援助の基礎知識を理解し技術を習得する。救命救急処置の基礎知識を理解し技術を習得する。呼吸・循環を整える技術の基礎知識を理解し技術を習得する。与薬の基礎知識を理解し技術を習得する。症状・生体機能管理技術の基礎知識を理解し、採血技術を習得する。診療・検査・処置の介助の基礎知識を理解することができる。						
	身だしなみ（髪型、化粧、爪、ピアス、白色ソックスなど）を整えて演習を受けること。実習室は、病室と捉え言動には注意する。各講義においては、事前に講義内容を学習したうえで講義・演習に臨むこと。講義・演習終了後の小テストやレポート課題も成績評価の一部となる。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】			事前・事後学修		
	1	ガイダンス・感染防止の技術			【事前学修】教科書による予習		
	2	感染防止の技術			【事後学修】教科書・講義資料による復習		
	3	創傷管理技術			【事前学修】教科書による予習		
	4	創傷管理技術（演習）			【事後学修】教科書・講義資料による復習・動画視聴による復習 【課題】演習レポート		
	5	排泄援助技術：導尿・浣腸			【事前学修】教科書による予習		
	6	排泄援助技術：導尿・浣腸			【事後学修】教科書・講義資料による復習		
	7	排泄援助技術：導尿・浣腸（演習）			【事前学修】教科書による予習		
	8	排泄援助技術：導尿・浣腸（演習）			【事後学修】教科書・講義資料・動画視聴による復習 【課題】演習レポート		
	9	呼吸を整える技術			【事前学修】教科書による予習		
	10	呼吸を整える技術			【事後学修】教科書・講義資料による復習		
	11	呼吸を整える技術（演習）			【事前学修】教科書による予習		
	12	呼吸を整える技術（演習）			【事後学修】教科書・講義資料・動画視聴による復習 【課題】演習レポート		
	13	救命救急処置技術			【事前学修】教科書による予習		
	14	救命救急処置技術（演習）			【事後学修】教科書・講義資料・動画視聴による復習		
	15	確認テスト			【事前学修】教科書・講義資料による総復習【事後学修】確認テストの解きなおし		
	16	与薬の技術			【事前学修】教科書による予習 【事後学修】教科書・講義資料による復習		
17	与薬の技術			【事前学修】教科書による予習【事後学修】教科書・講義資料による復習			

	回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
授業計画	18	与薬の技術	【事後学修】教科書・講義資料による復習
	19	与薬の技術	【事前学修】教科書による予習
	20	与薬の技術	【事後学修】教科書・講義資料による復習
	21	与薬の技術（演習）	【事前学修】教科書による予習
	22	与薬の技術（演習）	【事後学修】教科書・講義資料・動画視聴による復習 【課題】演習レポート
	23	与薬の技術（演習）	【事前学修】教科書による予習
	24	与薬の技術（演習）	【事後学修】教科書・講義資料・動画視聴による復習 【課題】演習レポート
	25	症状・生体機能管理技術	【事前学修】教科書による予習
	26	症状・生体機能管理技術（演習）	【事後学修】教科書・講義資料・動画視聴による復習 【課題】演習レポート
	27	診療・検査・処置の介助	【事前学修】教科書による予習
	28	診療・検査・処置の介助	【事後学修】教科書・講義資料による復習
	29	実技試験	【事前学修】教科書・講義資料・動画視聴による復習，技術練習
	30	実技試験	【事後学修】実技試験の振り返り
成績評価方法	講義・演習終了後に実施するミニテスト（20％）・課題レポート（10％）・実技テスト（20％）・定期試験（50％）で評価する。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。		
教科書	書名・著者（出版社）		ISBNコード
	系統看護学講座専門1 基礎看護技術 ・茂野香おる他 / 系統看護学講座専門1		978-4-260-04211-6 /
	看護がみえるvol.1 基礎看護技術・医療情報科学研究所 / 看護がみえるvol.2 臨床看護技術・医療情報科学研究所		978-4-89632-733-5 /
	New 看護学生プレトレーニング・メヂカルフレンド社編集部（メヂカルフレンド社）（1年前期購入済み）		978-4839216221
参考書			
教員からのメッセージ	看護技術の基本を学ぶ授業で、ここで学ぶ知識・技術は看護師として必須です。体調を整えてすべての授業に出席できるように努めましょう。		
教員との連絡方法	C-learningを利用して連絡してください。		
実務経験のある教員	授業・演習を担当するすべての教員が看護師免許を持ち、看護師としての実務経験を有している。		